

令和7年度

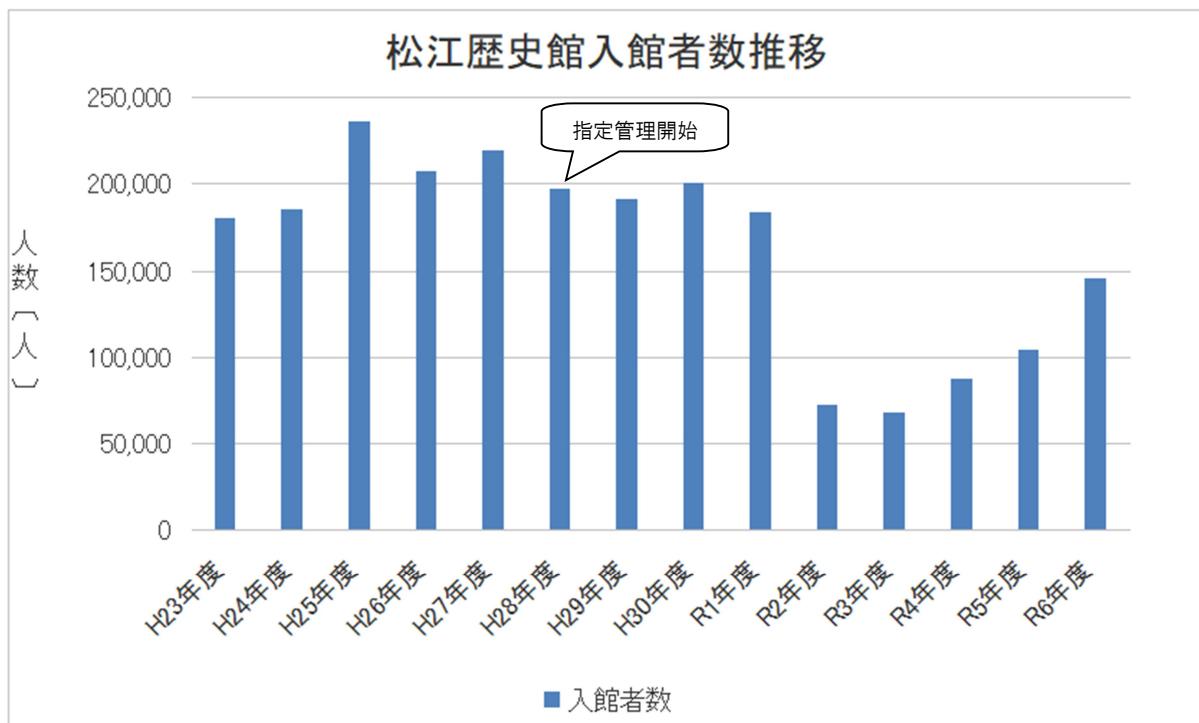
松江歴史館運営協議会

会議資料

- 令和6年度の事業実績について
・入館者数・観覧者数…………… 1～2
・展示・企画…………… 3～5
・資料取得・調査研究・教育普及・広報等…………… 6～8
・広報・誘客・施設管理…………… 9～11
- 令和7年度の主な運営状況について…………… 12～18
- 令和8年度運営方針・事業計画（案）について…………… 19～21
- 松江歴史館運営協議会委員名簿…………… 22
- 松江歴史館運営協議会に関する法律・例規条文（抜粋）…………… 23

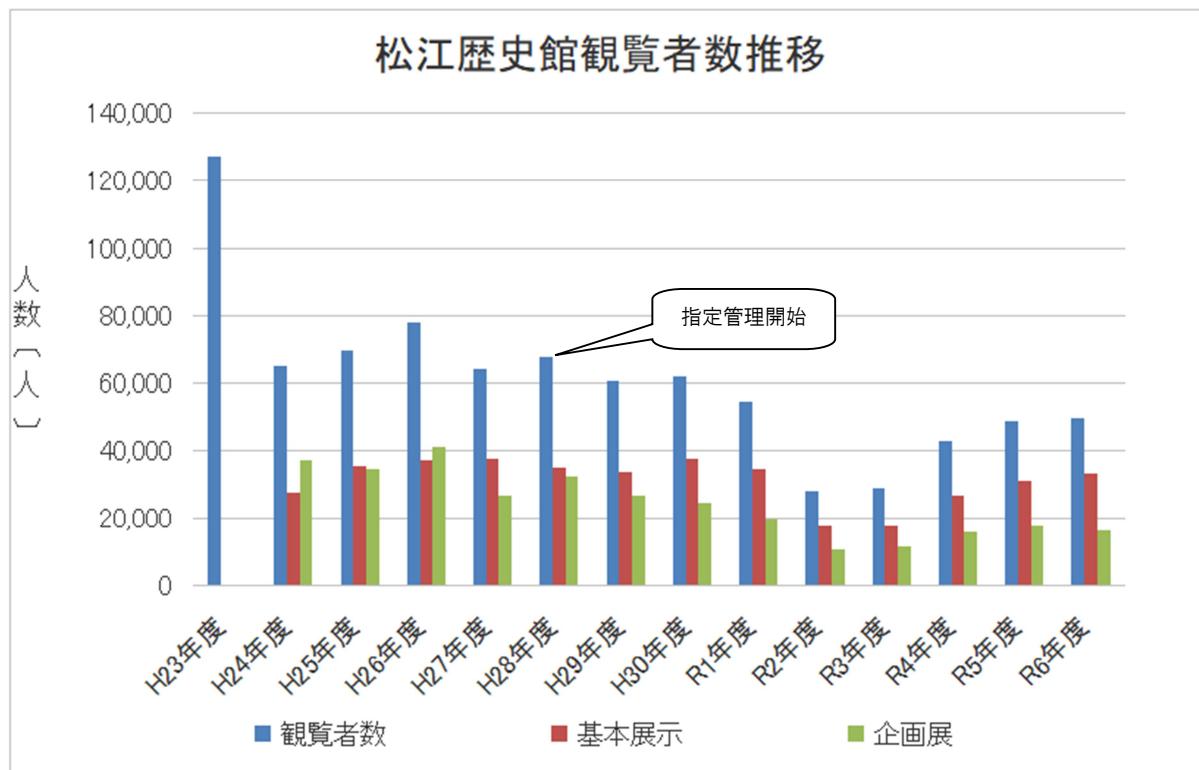
松江歴史館

令和6年度の事業実績（入館者数・観覧者数）



入館者数 145,149人（前年：104,049人、前年比139.5%）

※敷地内に入った人数



観覧者数 49,449人（前年：48,647人、前年比101.6%） 【目標値：53,000人】

※基本・企画展示室の観覧者数

【入館者数、観覧者数の評価】

→入館者数の前年比 139.5%に対し、観覧者数は前年比 101.6%であった。

→入館者数は全ての月において、前年度よりも増加したが、観覧者数は6月～9月、12月、2月と減少している月もあった。近年の夏の猛暑や冬の寒さによる影響も減少要因の一つと考える。魅力的な展示や、展示に関連したイベント等を行うことにより、入館者を観覧につなげる取り組みが必要である。

→令和6年度の松江城と松江歴史館との2館共通券利用者は5,898人で、松江城登閣者398,675人の約1.5%であった。松江歴史館では松江城や城下町の成り立ち等について紹介しており、松江城との関連が非常に強い。松江城との連携を高め、城と松江歴史館の両方を見てもらえるような取組みが必要である。

松江歴史館

令和6年度事業実績（展示・企画）

（1）企画展・特別展 ※企画展示室での展覧会

企画展名	会期	内容	観覧者数(人)
【企画展】 神々の美術—出雲の神像と神宝	R6. 4. 26～ 6. 16 (46日間)	出雲の寺社に遺る神像や仏像、神宝などを展示し、出雲の人々の神々に対する思いや信仰について紹介した。	3,663人 (約80人/日)
【企画展】 松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔	R6. 7. 12～ 9. 16 (59日間)	松江体育協会創立100周年を記念して、「柔道」という名称を日本で初めて使った直信流柔道や近代松江のスポーツについて紹介した。	2,430人 (約41人/日)
【特別展】 月照寺と松平家の宝	R6. 10. 4～ 11. 24 (45日間)	月照寺開基360周年を記念し、松江松平家の歴代藩主が眠る墓所である月照寺の様相や、宝物の数々を紹介した。	6,257人 (約139人/日)
【館蔵品展】 松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門	R7. 1. 24～ 3. 30 (57日間)	大橋家旧蔵資料などを通じ、筆頭家老として松江藩を支えた大橋茂右衛門を紹介する。	3,833人 (約67人/日)



企画展・特別展のトピック】
・企画展「神々の美術—出雲の神像と神宝」

〔会期：4月26日～6月16日（46日間）、観覧者数：3,663人（1日平均80人）〕

→学芸員によるリレー講座を開催（計5回、参加者144人）。

→企画展グッズとしてポストカードを販売（98枚販売）。

→ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用し、日英韓中仏の5か国語で展示解説を実施。

→ギャラリートーク（学芸員による展示解説）を実施（計2回、65人）。

→芸術文化振興基金を活用して事業を実施。

・企画展「松江体育協会創立 100 周年記念 松江のスポーツ今昔」

〔会期：7月12日～9月16日（59日間）、観覧者数：2,430人（1日平均41人）〕

→記念講演会・武術体験「松江藩武術の復活」（講師：NPO法人重吉伸一サムライ道場 重吉伸一氏）を開催。（参加者36人）

→雲藩直信流柔道研究会による直信流柔道の実演や、東京オリンピックの聖火リレーに際して使用されたトーチに触れることのできるイベントを開催。

→ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用し、日英韓中仏の5か国語で展示解説を実施。

→ギャラリートーク（学芸員による展示解説）を実施（計3回、参加者42人）。

・特別展「月照寺と松平家の宝」

〔会期：10月4日～11月24日（45日間）、観覧者数：6,257人（1日平均139人）〕

→記念講演会「松平不昧の茶道具収集～雲州蔵帳について～」（講師：島根県立美術館 館長 藤間寛氏）を開催。（参加者51人）

→企画展グッズとしてポストカードを販売。（77枚販売）

→初心者向けに月照寺廟所等を案内する「やさしい月照寺ツアー」を実施。（参加者19人）

→文化庁による「令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」の助成を受けて事業を実施。松江藩松平家七代藩主・松平治郷（号・不昧）にゆかり資料を東京国立博物館及び京都国立博物館から借用し展示を実施。

→日英韓中仏の5か国語で展示解説（ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用）を行うとともに、日英韓中仏の5か国語で展示図録にも掲載。

→ギャラリートーク（学芸員による展示解説）を実施（計4回、参加者116人）。

・館蔵品展「松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門」

〔会期：1月24日～3月30日（57日間）、観覧者数：3,833人（1日平均67人）〕

→記念講演会「筆頭家老 大橋家の人々」（講師：当館名誉館長 藤岡大拙）を開催。（参加者67人）

→関連イベントとして、江戸時代に大橋家の屋敷にあった伝利休茶室を利用して「大橋家伝來の茶室でお茶会」を実施。（参加者38人）

→展示観覧者の内、希望者に対して甲冑着付け体験を開催。（参加者50人）

→ギャラリートーク（学芸員による展示解説）を実施（計3回、参加者92人）。

→ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用し、日英韓中仏の5か国語で展示解説を実施。

（2）スポット展示・ミニ展示（展示室などの一角を利用した館蔵品中心の小展示）

・スポット展示（基本展示室内の展示コーナーの一角で展示）：計6回

→「不昧の茶室－大崎茶苑に行ってみよう－」 4月2日～5月26日

「平塚運一のスケッチ」 5月28日～7月28日

「松江城天守の古材は語る」 7月30日～9月29日

「神様の食器－野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀－」 10月1日～11月24日

「若槻禮次郎最後の漢詩『永別』」 11月26日～1月26日

「記録する絵画－朝鮮漂着民肖像画を中心に－」 1月28日～3月30日

・ミニ展示（企画展示室前のホールで展示）（無料）：計6回

→「治郷のサイン」 4月2日～5月26日

「秋鹿の葺師－屋根葺職人の道具－」 5月28日～7月28日

「青年 岸清一の姿」 7月30日～9月29日

「松江を訪れた文人－広瀬旭莊の漢詩－」 10月1日～11月24日

「松江の郷土玩具」 11月26日～1月26日

「楽山焼－長岡空味の色絵－」 1月28日～3月30日

(3) その他

・「公開承認施設」としての取り組み

→国宝・重要文化財の展示実績（令和6年度）

企画展「神々の美術－出雲の神像と神宝」

指定	国宝又は重要文化財の名称及び員数		種別	展示期間
重要文化財	木造摩多羅神坐像	一躯	彫刻	令和6年5月21日～6月16日
重要文化財	金銅觀音菩薩懸仏	一面	工芸品	令和6年4月26日～6月16日
重要文化財	金銅藏王権現懸仏（独鈷杵像）	一面	工芸品	令和6年4月26日～6月16日
重要文化財	金銅藏王権現懸仏（三鈷杵像）	一面	工芸品	令和6年4月26日～6月16日
重要文化財	木造十一面觀音菩薩立像	一躯	彫刻	令和6年4月26日～6月16日
国宝	秋野鹿蒔絵手箱	一合	工芸品	令和6年5月28日～6月16日
重要文化財	彩絵檜扇	一柄	工芸品	令和6年4月26日～5月19日
重要文化財	龍胆瑞花鳥蝶文扇箱	一合	工芸品	令和6年5月21日～6月16日
重要文化財	兵庫鎖太刀	一振	工芸品	令和6年4月26日～6月16日
重要民俗文化財	奉納鳴物（楽器・玩具）	十件	信仰に用いられるもの	令和6年4月26日～6月16日

特別展「月照寺と松平家の宝」

指定	国宝又は重要文化財の名称及び員数		種別	展示期間
国宝	照禅者あて偈頌（破れ虚堂）	一幅	書跡・典籍	令和6年10月29日～11月10日
重要文化財	遠浦帰帆図	一幅	絵画	令和6年10月29日～11月10日

※公開承認の要件

5年間に重要文化財の公開を適切に3回以上行った実績があること。

松江歴史館

令和6年度事業実績（資料取得・調査研究・教育普及・広報等）

（1）資料の取得

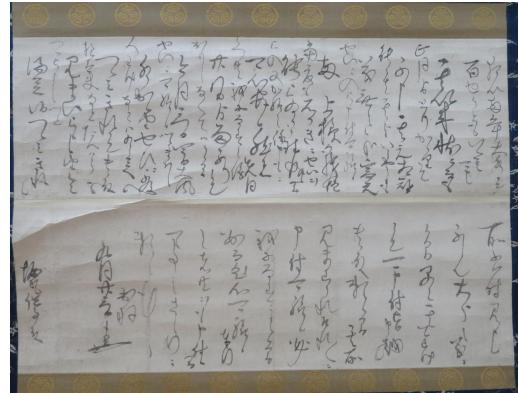
・購入・・・計2件

「松平直政書状」1幅

→江戸にいる松江藩主松平直政から松江にいる家臣の堀尾但馬に宛てた書状。国元で大雨が降り、堤が切れたことで、その対応を命じたもの。

松江歴史館では、同日付でほぼ同じ内容の大橋茂右衛門宛松平直政書状を所蔵している。

松江松平家の初期藩政において、堀尾但馬が大橋茂右衛門と同格であったことを示す資料である。



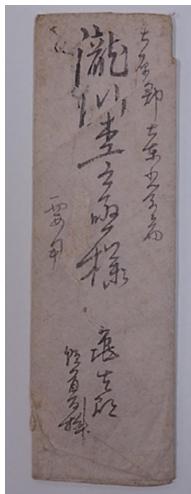
「瀧川亀太郎書翰」3点

→松江出身の史記研究の権威瀧川亀太郎（1865 - 1946）の書簡3点。

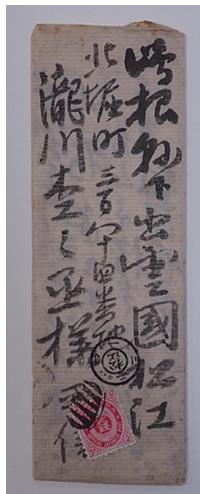
いずれも父親の瀧川奎之丞に宛てたもの。

瀧川亀太郎は、松江中学を中退して上京、明治16年（1883）に東京大学文科大学古典科に入学、同20年に漢書科を卒業した。暫く官界にあった後、明治30年（1897）第二高等学校（現宮城県仙台市に所在）教授に任せられ、大正14年（1925）まで在職した。昭和5年（1930）松江に帰ったが、4年後に再び上京、大東文化学院の教授に就任した。

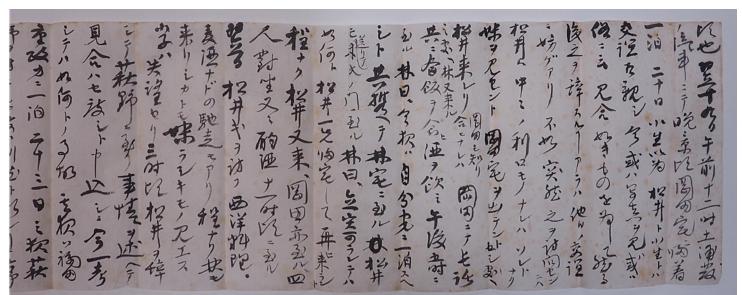
昭和20年（1945）松江に戦時疎開した。瀧川の業績を不朽としたものは『史記会註考証』130巻であり、昭和7年から同9年（1932～1934）にかけて出版された。同人に関連する資料は散逸しており、貴重である。



瀧川奎之丞宛瀧川亀太郎書簡（公債証借付可仕哉伺い状）



瀧川奎之丞宛瀧川亀太郎書簡（転居など近況報告）



瀧川奎之丞宛瀧川亀太郎書簡（東京旅行など報告）

・寄贈・・・計13件

1	写真「小片原の蓼」	1枚
2	吉村家旧蔵資料	90点
3	野々内保太郎筆『双鷺図屏風』、河井寛次郎作『牡丹文花瓶』	2点
4	梅木家資料	5点
5	八雲塗孔雀図盆、足立碧圃作李白図額ほか	16点
6	松浦写真館所蔵写真一式	一式
7	木挽（伝徳川家康より拝領）	1点
8	賞状	1点
9	アルバム帳（大橋茂右衛門安幾の写真を含む）	1冊
10	松江体育協会看板	1枚
11	渡部家資料	2点
12	足立碧圃作品8件、足立碧圃関係資料3件、八雲塗菊花図脚付台1点、『前賢故実』一式、独照性圓月潭道澄墨蹟1点	14件
13	写真「大橋茂右衛門安幾」	1枚

・寄託（新規）・・・計6件

（2）調査・研究

- ・『松江歴史館研究紀要 第13号』の刊行 →論考3件を掲載。

1	「出入捷覧」後の松江藩財政に関する史料紹介 —嘉永六年度の松江藩江戸屋敷会計簿—	笠井 今日子
2	史料紹介 小禄の堀尾家家臣団を記載した『雲隠知行牒』 —堀尾家旧臣同士が写し、残した分限帳—	新庄 正典
3	版画家・平塚運一の新出資料紹介 —『東京震災跡風景』のスケッチを中心に—	大多和 弥生 藤岡 奈緒美

（3）教育・普及

・名誉館長講座

→藤岡名誉館長による古代から近代までの出雲の歴史についての講座。（月1回 4月～3月、定員60名）

・松江おもしろ談義—歴史をたずねる・美術にしたしむ—

→学芸員による松江の歴史や美術に関する講座。（月1回 参加者合計386人）

4月21日（日）「松江藩家老 三谷家文書の史料紹介」 28人

5月19日（日）「松江の神像—平安時代の神々へのイメージ」 28人

6月16日（日）「神宝と漆器」 27人

7月21日（日）「松江藩列士録」を読む—柔道師範 寺田平左衛門」 20人

8月18日（日）「巡見使と美保関—美保神社の記録を中心に—」 31人

9月8日（日）「江戸幕府の絵図を読み解く 正保城絵図と松江城」 40人

10月6日（日）「特別展『月照寺と松平家の宝』の見どころ」 36人

11月17日（日）「狩野永雲筆『涅槃図』の謎を絵解きする」 32人

12月15日（日）「松江の郷土玩具について」 15人

1月19日（日）「松江藩の決算書—江戸御金方の勘定目録を読む—」 44人

- 2月 16日（日）「列士録を読む－大橋茂右衛門の与力－」 56人
3月 9日（日）「松江ゆかりの洋画家・草光信成が見た北海道」 29人

- ・松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」（松江市教育委員会主催）（9年目）
→学芸員等が市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内。（全34校1,755人）
- ・松江歴史館を訪れた市内6年生への無料観覧パスポートの進呈
→学習意欲のある児童を支援するため、自主的に松江歴史館を訪れた市内6年生に、松江歴史館及び松江ホーランエンヤ伝承館の年間無料観覧パスポートを進呈。※進呈者数18人
- ・「めざせ！お城マスター！～もっと知りたい松江のお城と城下町～」の実施
→松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生（保護者含む）を対象に、松江城や城下町の歴史や、文化財を保存し活かす博物館の役割について説明や案内をした。（4回、35人）

（4）広報

- ・松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」の刊行
→7号（秋号）、8号（春号）の刊行
- ・館長による情報発信
→毎月第3水曜日に「お城の見える窓から」と題した館長コラムを館ホームページにて掲載し、松江にかかわることなどの情報発信を行った。

【指定管理者】

松江歴史館

令和6年度事業実績（広報・誘客・施設管理）

（1）広報・誘客

様々な誘客イベントを開催し誘客に努めた。展示を絡めた集客イベントも8月と1月に開催できた。SNSなども週1回以上更新し、松江歴史館に興味を持つてもらえる様な記事を投稿した。また県外などで開催された観光情報説明会への参加や、旅行会社への営業(約90件)も積極的に行った。

開催日	件名	人数	概要
4月14日(日)	火縄銃の演武と居合切り	231名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
4月21日(日)	特別茶席「きはる庵」	11名	お茶会の雰囲気を気軽に体験していただく。一席1,500円
5月3日(金)	火縄銃の演武と居合切り	464名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
5月3日(金) ～5月5日(日)	弓打ち射的・手裏剣的当て	532名	弓で大将を倒したり、手裏剣を的に当てたら景品を進呈。各1回100円
5月5日(日)	松江真舞会 石見神楽上演	421名	松江市の石見神楽団体「松江真舞会」による上演。演目／頼政※子供メンバーによる上演、大蛇。鑑賞無料
6月9日(日)	「武者の日」弓打ち射的	156名	「武者の日」関連イベント。弓で大将を倒したら景品を進呈。1回100円
6月21日(金) ～7月7日(日)	3103*イラストレーション展「知られざる松江のミューズー松江にまつわる女性・女神の物語ー」		松江の歴史の女性や女神にフォーカスした、松江市在住デザイナー・イラストレーター3103*(Satomi)によるイラスト展
7月14日(日)	火縄銃の演武と居合切り	145名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
7月21日(日)	お城マスターAコース「松江城のお宝と対面！～松江歴史館の裏側拝見～」	6組9人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
7月21日(日)	特別茶席「きはる庵」	17名	お茶会の雰囲気を気軽に体験していただく。一席1,500円
7月22日(月) ～9月16日(月)	フリースローコーナー設置		企画展にあわせ、バスケットゴールを設置。
7月28日(日)	お城マスターBコース「武将の装い～鎧・兜の巻～」	4組8人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
8月10日(土)	マツエジョーDAYS 手裏剣的当て、缶バッジづくり、投扇興体験	手裏剣 87、バッジ37	松江城に親しんでもらうイベントに館のPRのため出展。アンケートも実施
8月10日(土) ～9月16日(月)	聖火リレーのトーチを持ってみよう		1964年と2020年の東京オリンピック聖火リレーで使用されたトーチを持つことができる。無料
8月11日(日)	火縄銃の演武と居合切り	267名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
8月11日(日)	伝統武術演武 直信流柔道	69名	企画展関連イベント。直信流柔道の演武演武／雲藩直信流柔道研究会
9月15日(日)	火縄銃の演武と居合切り	222名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料

開催日	件名	人数	概要
9月 22日(日)	お城マスターC コース「難攻不落、松江城の秘密～攻防の仕組みを探る～」	6組9人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
9月 29日(日)	お城マスターD コース「松江城下をブラあるき！～江戸時代にタイムスリップできる歩き方～」	5組11人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
10月 5日(土)	一夜かぎりのナイトミュージアムin松江歴史館	1018名	水燈路にあわせて館内の無料開放と喫茶の延長営業
10月 13日(日)	火縄銃の演武と居合切り	286名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
10月 20日(日)	特別茶席「きはる庵」	10名	お茶会の雰囲気を気軽に体験していただく。一席1,500円
11月 10日(日)	火縄銃の演武と居合切り	197名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
11月 16日(土)	やさしい月照寺ツアー	19名	初心者向けに廟所等を案内。英語・中国語・フランス語・韓国語の通訳が可能。
11月 23日(土)	篆刻教室	16名	島根篆刻会会員の指導で名前や文字を石に彫ったオリジナルの印を作成。参加費500円、定員各回10人
11月 29日(金) ～12月 15日(日)	路上詩人こーた個展「彩-irodori-」		2024年に制作した作品を一挙公開
12月 7日(土)	まこもを使ったしめ縄づくり	10名	正月かざりのしめ縄を、真菰(まこも)を使って作る。参加費2,000円、定員10人 講師／多久和厚氏（里山笑楽校）
12月 25日(水)	こども落語公開稽古	30名	出入り自由、観覧無料、出演5人
12月 26日(木)	こども落語公開稽古	15名	出入り自由、観覧無料、出演2人
1月 2日(木)	書き初め	49名	学校の宿題や新年の抱負など自由に書き初めしてもらう。開眼師範による指導もあり。参加無料、定員1回(30分)5人×10回
1月 2日(木)	松江城鉄炮隊初撃ち	345名	松江城鉄炮隊による新年初の火縄銃の鉄砲演武
1月 4日(土)	ビニール凧づくり	23名	凧をビニールとストローで簡単に作る。1枚100円
1月 11日(土)	こども落語公開稽古	29名	出入り自由、観覧無料、出演3人
1月 19日(日)	特別茶席「きはる庵」	25名	お茶会の雰囲気を気軽に体験していただく。一席1,500円
1月 29日(水)	こども落語公開稽古	6名	出入り自由、観覧無料、出演2人
2月 5日(水)	こども落語公開稽古	19名	出入り自由、観覧無料
2月 11日(火)	こども落語公開稽古	20名	出入り自由、観覧無料
2月 13日(木)	こども落語公開稽古	13名	出入り自由、観覧無料
2月 15日(土)	こども落語公開稽古	23名	出入り自由、観覧無料
2月 16日(日)	大橋家伝来の茶室でお茶会	19名	館蔵品展関連イベント。大橋家伝来の茶室で茶会。一席1,500円
2月 19日(水)	こども落語公開稽古	8名	出入り自由、観覧無料
2月 23日(日)	甲冑着付け体験	8名	館蔵品展関連イベント。甲冑を着て写真撮影してもらう。要館蔵品展観覧券
2月 23日(日)	こども落語公開稽古	39名	出入り自由、観覧無料
2月 26日(水)	こども落語公開稽古	7名	出入り自由、観覧無料
3月 1日(土) ～3月 30日(日)	松島彩 パステル画展 「Pleasant dreams」		小泉八雲と妻のセツが見た世界を、松島彩がパステルで描く。
3月 1日(土)	花もちづくり	6組19人	松江の桃の節句のお菓子・花もちを作る。参加費1組1000円、定員6組
3月 5日(水)	こども落語公開稽古	11名	出入り自由、観覧無料
3月 12日(水)	こども落語公開稽古	20名	出入り自由、観覧無料

開催日	件名	人数	概要
3月16日(日)	大橋家伝来の茶室でお茶会	19名	館蔵品展関連イベントとして大橋家伝来の茶室で茶会。一席1,500円
3月19日(水)	こども落語公開稽古	23名	出入り自由、観覧無料
3月20日(木)	こども落語公開稽古	26名	出入り自由、観覧無料
3月20日(木) ～3月30日(日)	開館14周年記念 展示観覧でお米を当てよう	805名	当日の観覧券1枚につき1回くじ引きを行い、お米などの景品を進呈。3/23(日)は除く
3月22日(土)	開館14周年記念プレイメント 怪談演劇「松永江美が黙らない」	28名	開館14周年記念プレイメント。島根大学演劇部シアターちよこざいによる怪談演劇。定員40人、鑑賞無料
3月23日(土)	松江歴史館開館14周年記念イベント		展示室無料開放や豚汁配布、パンや野菜の販売など盛りだくさんのイベント
3月23日(土)	開館14周年記念 火縄銃の演武と居合切り	514名	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
3月23日(土)	開館14周年記念 暗号を集めよ！	298名	松江歴史館と松江ホーランエンヤ伝承館にある暗号を集めると景品を進呈
3月23日(土)	開館14周年記念 いきいき歴史館寄席～落語と八雲怪談といずもべん～	212名	松江算数活塾落語教室の子ども達による落語や怪談。定員各70人、出入り自由、鑑賞無料
3月25日(火) ～3月30日(日)	暗号を集めよ！	81名	松江歴史館と松江ホーランエンヤ伝承館にある暗号を集めると景品を進呈
3月26日(水)	こども落語公開稽古	6名	出入り自由、観覧無料
3月29日(土)	甲冑着付け体験	26名	館蔵品展関連イベント。甲冑を着て写真撮影してもらう。要館蔵品展観覧券
3月30日(日)	甲冑着付け体験	14名	館蔵品展関連イベント。甲冑を着て写真撮影してもらう。要館蔵品展観覧券

・松江城天守VR体験の実施【継続】

松江城天守へ登閣が困難な方等への登閣疑似体験の提供やVRのエンターテイメント性を活かした天守の魅力発信のため、令和4年度から毎週土・日・祝に実施しており、令和6年度は、416人の参加があった。

(2) 維持管理業務

・設備等管理

保守点検業者と密に連携し対応した。夜間などに異常がみられた際も速やかに対応した。修繕が必要な際は松江市に報告し、協議の上で行った。

・清掃業務

清掃員を雇用し仕様書に沿って清掃業務を行った。清掃員以外も朝夕清掃を行い、館内外ともに一定の品質を保つことが出来た。今後も引き続き美化活動に努める。

・危機管理

消防計画、防災マニュアル、緊急連絡網などを作成・見直しを実施した。避難訓練時には消防員に来ていただき、実際の動きなども確認した。また、松江市出前講座にて原子力災害の講習会を開催しました。大雪などの際は早めに出勤し雪かきを行い、利用者の安全等を確保した。

・その他

- ・令和7年1月20日には、外部講師を招き接遇研修を実施し、スキルアップに繋がりました。
- ・年間パスポート会員：204人（市内6年生向け年間パスポート数は除外）
- ・ボランティアスタッフ：58人

松江歴史館

令和7年度の主な運営状況について

(1) 館全体に関わること

【入館者数・観覧者数】

- ・入館者数：[4～10月] 125,997人 (令和6年度95,007人、令和6年度比 132.6%)
 - ・観覧者数：[4～10月] 34,246人 (令和6年度31,444人、令和6年度比 108.9%)
- 入館者数、観覧者ともに昨年度と比べて増加している。各月の観覧者数を見ると、6月以降は前年度を上回っているが、入館者の増加率に比べ、観覧者数の増加率が低い。入館者を観覧につなげる取り組みが必要である。
- 近年の光熱費・労務費の上昇に伴い、維持管理費が増加する中で、施設を継続して維持していくために、観覧料を令和7年4月1日より改定した。10月末時点で、観覧料収入は前年度に比べて141%となっている。
- 市民への負担軽減・暮らしの充実の観点から、観覧料については、令和7年4月1日より市民割引を導入した。4月から10月末までの市民の利用率は全体の7%で、当初の想定(30%)よりも少ない結果となった。周知を図っていく必要がある。

(2) 具体的な取り組み

【松江市】

【展示・企画】 ※年間展示のスケジュールや内容は15頁のとおり

・企画展「松江の名工・小林如泥—その技、神の如し—」

- [会期：4月25日～6月15日(46日間)、観覧者数：3,216人(1日平均69人)]
- 記念講演会「不昧と如泥—不昧の遺した技と美—」(講師：出雲文化伝承館 館長 藤原隆氏)を開催。(参加者 58人)
- 文化財課主催の「松江市歴史のまち歩き『松江の名工・小林如泥の痕跡をたどる』」において、白潟公民館館長 松本道博氏とともに展示担当学芸員がガイドを担当。(応募者74人 参加者20人)
- ギャラリートーク(学芸員による展示解説)を実施(計4回 参加者137人)。
- ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用し、日本語で展示解説を実施。
- 「国立文化財機構所蔵品貸与促進事業」を活用して事業を実施。小林如泥の代表作品「袖障子」「茶箱」を東京国立博物館から借用し展示を実施。また助成を受け、山陰中央新報の広告欄に掲載。

・館蔵品展「長崎家の籐細工—松江でつづく丁寧な仕事—」

- [会期：7月18日～9月15日(53日間)]、観覧者数：3,823人(1日平均72人)
- 松江藩籐細工六代 長崎誠氏、同八代川口淳平氏による記念対談を開催。(参加者68人)
- 関連イベントとして「籐細工でコースターor籠作り」を開催。(参加者15人)
- ギャラリートーク(学芸員による展示解説)を実施(計4回 参加者96人)。
- 外国人観覧者に対応するため、パネルに英語を併記した。

・特別展「慶長の城—松江城築城とその時代—」

- [会期：10月10日～12月7日(51日間)]

- 記念講演会「松江城と駿府城の慶長期石垣—石垣から見た堀尾氏と公儀普請—」(講師:織豊期城郭研究会 松井一明氏)を開催予定。
- 歴史館職員が、小学生を含む子どもとその家族を対象として、松江城を案内する見学ツアー「家族でお城歩き」を開催。
- ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を活用し、日本語・英語で展示解説を実施。
- 「地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」を活用して事業を実施。東京大学史料編纂所や彦根城博物館、大阪城天守閣等からゆかりの資料を借用し展示を実施。
- 展示にあわせ、玄関ホールで松江で暮らす国際交流員が写真で松江城や町の魅力を伝える写真展を開催。

・企画展「連続テレビ小説「ばけばけ」の世界と小泉セツと八雲の時代」

[会期: 12月26日～3月29日 (78日間)]

教育普及

・名誉館長講座〈継続〉

→藤岡名誉館長による古代から近代までの出雲の歴史についての講座。(月1回、4月～実施)

・松江おもしろ談義—歴史をたずねる・美術にしたしむ—〈継続〉

→学芸員による松江の歴史や美術に関する講座。(年6回)

・松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」(松江市教育委員会主催) (10年目)

〈継続〉

→市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内。(全32校1,721人予定)

・松江歴史館を訪れた市内6年生への無料観覧パスポートの進呈〈継続〉

→学習意欲のある児童を支援するため、自主的に松江歴史館を訪れた市内6年生に、松江歴史館及び松江ホーランエンヤ伝承館の年間無料観覧パスポートを進呈。

(進呈者数20人 [10月末現在])

・「めざせ！お城マスター！～もっと知りたい松江のお城と城下町～」の実施〈継続〉

→松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生(保護者含む)を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学するコースを用意。4回企画し、7月26日(土)は「武装の装い～鎧・兜の巻～」参加者2人、8月2日(土)は「松江城のお城と対面！～松江歴史館の裏側拝見～」参加者11人、9月22日(日)は「難攻不落！松江城の秘密～攻防の仕組みを探る～」参加者8人、9月29日(日)は「昔の松江ブラ歩き～江戸時代の城下町にタイムスリップできる歩き方～」参加者3人。歴史館の職員が引率し、松江城や城下町の歴史や、文化財を保存し活かす博物館の役割について学習する機会をつくった。(指定管理者との連携事業)

調査研究

・『松江歴史館研究紀要 第14号』の刊行〈継続〉

広報

・松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」の刊行〈継続〉

→9号(秋号) [発刊済み]、10号(冬号) [発刊予定]

近隣施設との連携

NHK の連続テレビ小説放送決定および松江城天守国宝 10 周年事業実施に伴い、松江城周辺の観光客が増加している。しかしながら、松江城天守を登閣された方のうち、周辺の文化観光施設を回遊する方の割合は低水準にとどまっており、周辺施設を気軽に回れる仕組みが必要。

・あげ、そげ、ばけ めぐり

→松江城周辺の対象施設で入場チケットを購入し、そのチケットを他の対象施設や協賛店で提示するだけで、2館目以降の入館料や乗船料が最大2割引でお得に巡ることが出来る、「あげ、そげ、ばけ めぐり」を周辺施設と連携し実施。さらに、協賛店でのグルメやお土産も特典付きで楽しめる。

実施期間：令和 7 年 7 月 19 日～令和 9 年 3 月 31 日（予定）

対象施設：松江歴史館、松江ホーランエンヤ伝承館、松江城天守、小泉八雲記念館、
小泉八雲旧居、武家屋敷、明々庵、島根県立美術館、田部美術館、
松江北堀美術館、堀川遊覧船

（10 月末までの松江歴史館での利用者 2,012 人）

・お堀のほとりで～見る・知る・食べる！

→11 月 3 日（月・祝）に田部美術館主催で塩見縄手周辺の 20 の店舗・施設と連携したイベントを実施。当館は、イベントのチラシ提示による観覧料割引（来館者 0 人）と松江算数活塾落語教室のこどもたちによる寄席を行った。

〈2025年度のスケジュール（企画展・特別展）〉

企画展

令和7年（2025）4.25 金 - 6.15 日

松江の名工・小林如泥 —その技、神の如し—

小林如泥（1753-1813）は、松江藩松平家7代藩主松平治郷（不昧）に仕えた指物師（木工細工の職人）で、透かし彫りや厚材の扱いに優れ、煙草盆や茶箱、建造物の装飾なども手がけました。「その技、神の如し」とたたえられた技は後世の作り手に影響を与えました。本展では、小林如泥の作品と如泥に影響を受けた人々の作品を紹介し、松江が誇る木工文化の素晴らしさを改めて紹介します。



「柳桑富士西行図透刀掛」
小林如泥作（当館蔵）

館蔵品展

令和7年（2025）7.18 金 - 9.15 月・祝

長崎家の籐細工 —松江でつづく丁寧な仕事—

松江藩の籐細工は江戸時代後期の文政年間頃には作られ始めていたといい、下級武士が内職として煙管入を製作していたと伝えられています。この江戸時代の技法を現代に伝えるのが長崎家の籐細工です。江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎家初代仲蔵が、松江藩下屋敷で籐細工を作ったのが始まりとされています。本展では、初代仲蔵から現在活躍中の6代長崎誠氏と、その技術を受け継ぐ方々の作品を紹介します。



「極細一楽編煙管入」
長崎仲蔵作（当館蔵）

特別展

令和7年（2025）10.10 金 - 12.7 日

慶長の城 —松江城築城とその時代—

関ヶ原合戦の後、戦争の火種が残る慶長期は、城郭の改修と新築が一気に進んだ時代でした。松江城も、築城ラッシュの最中、慶長16年（1611）に建ちました。戦功により出雲・隠岐両国を与えられた堀尾氏が、新たな支配の拠点として松江を選び、城と城下町を造り上げたのです。松江城天守の国宝指定10周年を記念して開催する本展では、松江城研究の成果にもとづき、周辺地域の城と比較しながら、「慶長の城」松江城の姿をあらわします。



国宝
松江城



国宝 松江城天守



企画展

令和7年（2025）12.26 金 - 令和8年（2026）3.29 日

連続テレビ小説「ばけばけ」の世界と 小泉八雲とセツの時代（仮）

NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」が2025年10月から放送されることにあわせて、ドラマの主人公のモデルとなった松江藩家臣の小泉家次女・小泉セツと、その夫でギリシャ生まれのアイルランド人作家・小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の二人が生きた明治時代中期の松江の様相を、歴史資料やゆかりの品々で振り返ります。



「小泉八雲夫妻」
和田悠成作（当館蔵）

【指定管理者】

利用促進

- ・市報や新聞、情報冊子への展示・イベント情報の掲載
- ・SNSでの情報発信

→令和7年度は朝ドラ関連を意識した投稿もおこない、多くの閲覧がある。

【X、インスタグラム、Facebook】

- ・旅行会社への営業活動 →商談会などに参加し、歴史館をPR。

・各種イベント、誘客活動の実施一覧

開催日	件名	人数	概要
4月2日(水)	水曜こども寄席	17人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
4月9日(水)	水曜こども寄席	9人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
4月13日(日)	火縄銃の演武と居合切り	①77人 ②68人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
4月16日(水)	水曜こども寄席	6人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
4月20日(日)	特別茶席「きはる庵」	6人	お茶会の雰囲気を気軽に体験。一席1,500円
4月20日(日)	こども寄席	5人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
4月23日(水)	水曜こども寄席	11人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
4月27日(日)	こども寄席	15人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
4月30日(水)	水曜こども寄席	26人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
5月3日(土) ～5月5日(月)	弓打ち射的・手裏剣的 当て	3日 140人 4日 133人 5日 150人	弓で大将を倒したり手裏剣を的に当てると景品を進呈。各1回100円
5月3日(土)	火縄銃の演武と居合切り	①160人 ②180人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
5月4日(日)	GW子ども寄席	①27人 ②43人	松江算数活塾落語教室の子どもたちによる落語。入場無料、出入り自由
5月5日(月)	松江真舞会 石見神楽 上演	288人	松江市の石見神楽団体「松江真舞会」による上演。無料
5月14日(水)	水曜こども寄席	9人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
5月21日(水)	水曜こども寄席	6人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
5月28日(水)	水曜こども寄席	15人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
6月4日(水)	水曜こども寄席	8人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
6月11日(水)	水曜こども寄席	17人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
6月15日(日)	特別茶席「きはる庵」	23人	お茶会の雰囲気を気軽に体験。一席1,500円
6月18日(水)	水曜こども寄席	9人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
6月25日(水)	水曜こども寄席	11人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
6月28日(土) ～6月29日(日)	松江城天守祈祷札ステッカープレゼント	665人	展示観覧者に「松江城天守祈祷札ステッカー」をプレゼント
6月28日(土) ～6月29日(日)	特別版お城EXPO in松江 ブース出展	28日 109枚 29日 44枚	松江城・歴史館共通券と御城印の販売、館のPR
7月2日(水)	水曜こども寄席	11人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
7月9日(水)	水曜こども寄席	12人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
7月16日(水)	水曜こども寄席	15人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
7月19日(土)	こども寄席	10人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
7月20日(日)	【松江城天守国宝10周年記念】松江歴史館 こども寄席	朝席 47人 昼席 58人	松江算数活塾落語教室の子どもたちによる松江城に関する話や小泉八雲の怪談話、出雲弁での落語。入場無料

開催日	件名	人数	概要
7月20日(日)	火縄銃の演武と居合切り	①249人 ②108人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
7月23日(水)	水曜こども寄席	9人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
7月26日(土)	お城マスターAコース 「武将の装い～鎧・兜の巻～」	1組2人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
7月27日(日)	特別茶席「きはる庵」	10人	お茶会の雰囲気を気軽に体験。一席1,500円
7月27日(日)	籐細工でコースターor籠作り	15人	籐細工でコースターまたは籠を作る。参加費1,200円、定員15人
8月2日(土)	お城マスターBコース 「松江城のお宝と対面！～松江歴史館の裏側拝見～」	6組11人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
8月7日(木)	こども寄席	13人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
8月10日(日)	火縄銃の演武と居合切り	雨天中止	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
8月15日(金)	こども寄席	20人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
9月3日(水)	水曜こども寄席	22人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
9月10日(水)	水曜こども寄席	22人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
9月12日(金)	こども寄席	7人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
9月14日(日)	火縄銃の演武と居合切り	①144人 ②189人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
9月17日(水)	水曜こども寄席	11人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
9月24日(水)	水曜こども寄席	16人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
9月27日(土)	お城マスターCコース 「難攻不落、松江城の秘密～攻防の仕組みを探る～」	5組8人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
10月1日(水)	水曜こども寄席	17人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
10月4日(土)	お城マスターDコース 「松江城下をブラあるき！～江戸時代にタイムスリップできる歩き方～」	2組3人	市内小学5,6年生対象のフィールドワーク。定員5組、参加無料
10月8日(水)	水曜こども寄席	31人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
10月10日(金) ～12月7日(日)	祈祷札ステッカープレゼント		特別展を観覧の方、各日先着30名に松江城天守祈祷札のステッカーをプレゼント
10月10日(金) ～12月7日(日)	松江城重ねおしスタンブラー		
10月12日(日)	火縄銃の演武と居合切り	①176人 ②207人	松江城鉄炮隊と姉さま鉄炮隊による演武。観覧無料
10月15日(水)	水曜こども寄席	13人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
10月22日(水)	水曜こども寄席	19人	松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古
10月29日(水)	水曜こども寄席		松江算数活塾落語教室子どもたちによる公開稽古

・松江城天守VR体験の実施【継続】

令和7年度4月以降114人の参加があった。

今後のイベント予定

- ・「水曜子ども寄席」毎週水曜日
- ・「路上詩人こーた氏御城印書き下ろし」(11/22)
- ・「路上詩人こーた氏個展」(11/22～12/7)
- ・「祈祷札ステッカープレゼント」(10/10～12/7)
- ・「火縄銃の演武と居合切り」(11/10)
- ・「家族でお城歩き」(11/9・29)
- ・「篆刻教室」(11/23)
- ・「しめ縄作り」(12/6)
- ・「書初め教室」(1/2)
- ・「火縄銃初撃ち」(1/2)
- ・ビニール凧作り体験(1/3)
- ・「きはる庵」(1/18)
- ・「花もちづくり親子体験」(2月予定)
- ・「松島彩さん作品展&八雲が愛した焼津の光景」(12/23～2/15)
- ・「へるんアートパーク(すごろくやぬりえ)」(2/21～23)
- ・「きはる庵」(3/15)
- ・「開館15周年記念イベント」(3/20～22・28・29)

維持管理業務

・設備等管理

保守点検業者と密に連携をとり管理。開館14年を越え、修繕箇所が多くなってきており、松江市と協議しながら優先順位をつけて対応している。

・清掃業務

館内の清掃について、仕様書に基づき実施。朝夕は清掃作業計画表を活用し、開館作業以外の職員も清掃を行い、品質を保つよう努めている。普段できない箇所などは、休館日を利用して実施。今後もお客様目線で隅々まで清掃業務に努める。

・危機管理

消防計画、防災マニュアル、緊急連絡網などを作成し共有。来年1月には北消防署職員を招き、水消火器を使い的当て体験と煙ハウス通り抜け体験を実施予定。

・その他

来年1月に3年に1度の「建築基準法第12条に基づく定期報告」を実施予定。

松江歴史館

令和8年度運営方針・事業計画（案）

開館から14年を経て、博物館が持続的に運営を続けていくために、市民に親しまれるとともに全国に誇れる博物館を目指して、市と指定管理者が緊密な連携を図って、以下の方針で運営していく。

（1）館全体の運営方針

館の改修についての検討 〈継続〉

○開館から14年が経過する中で、持続的に館の運営を続けていくため、設備の計画的な修繕を行っていく必要がある。また、館の魅力を向上させるため、調査研究成果を取り入れた基本展示の改修の検討を進めていく。

公開承認施設としての適切な運営について 〈継続〉

○松江歴史館は、令和4年8月7日から令和9年8月6日まで5年間、国宝や重要文化財の公開に適した博物館として「公開承認施設」に承認されている。引き続き公開環境の維持を図る。

登録博物館について 〈継続〉

○令和5年4月1日付けの博物館法の改正で、博物館登録制度の見直しが行われ、既に登録されている博物館においても、法改正に沿った申請が改めて必要となった。経過措置期間内の令和9年度までに、申請手続きを行う。

（2）個別事項の運営方針・事業計画

【松江市】

展示・企画

○企画展を年4回開催する。このうち1回は館蔵品を中心に展示する。

① 企画展「意東焼—松江で作られた幻の磁器—」

【会期】4月24日（金）～6月14日（日）【公開日数：45日】

【概要】意東焼は、天保3年(1832)ごろに、意宇郡下意東に他領から多くの職人を招き、磁器の生産が開始したことから始まる。操業期間については、7～8年と極めて短いものの、藩内の磁器の自給率を上げるために多くの意東焼が作られたといわれている。県内に保管されている意東焼を一斉に展示し、その特徴について改めて見直すとともに、松江藩が磁器の製作に取り組んだ軌跡をたどる。

② 企画展「松江町人太助の世界—大保恵日記の中のハレとケ—」

【会期】7月17日（金）～9月23日（水・祝）【公開日数：60日】

【概要】「大保恵日記」に記された江戸時代の松江町人の生活を紹介する。時代の変化とともに、変わったもの、変わらないものはなにか。太助の目をとおして、現代に息づく松江の文化と暮らし方の変化を伝える。

③ 特別展「猪目が揃う松江藩の甲冑」

【会期】10月16日（金）～12月13日（日）【公開日数：51日】

【概要】松江松平家に仕えた武士は皆、甲冑に揃いの合印「猪の目」を付けていた。前進あるのみの猪の心意気をトレードマークとし、合戦に臨んだのだろう。松江藩主や松江藩士の家に伝わった甲冑、松江藩が寺社へ寄進した甲冑を一堂に紹介する。

④ 館蔵品展「極秘諸国城図」

【会期】1月22日（金）～4月4日（日）【公開日数：63日】

【概要】江戸城創築期の縄張りを描いた「江戸始図」で有名な『極秘諸国城図』74舗を一斉公開する。あわせて松江城を描いた絵図を展示し、城絵図の多様な表現を紹介する。

○今後の企画展の開催に向けた調査研究、借用交渉を行う。

令和9年度に予定している企画展のテーマ

企画展「松江の奇才・荒川亀斎」

館蔵品展

特別展「芥川龍之介の心を癒した松江」

館蔵品展「松江藩の秘密の物語－『雲陽秘事記』の世界－」

資料の収集・保存・活用

○松江の歴史や文化に関わる後世に残すべき貴重な資料は、購入、寄贈、寄託等により収集する。

○資料の適切な保存、活用を図るため、収蔵資料の点検や整理などを継続的に行う。また、資料を効果的に活用するため、収蔵品データベースに情報を登録し、必要なものは公開していく。

教育・普及

○学芸員などによる各種講座を定期的に開催する。

（松江おもしろ談義〔年6回〕など）

○市内の小・中学校、高校など、児童・生徒の歴史学習の場として活用してもらう。

特に「松江城授業プロジェクト」の実施を引き続き教育委員会と協力して実施する。

○地域の歴史や文化について探求する地元の教育機関への協力も引き続き実施する。

○子どもだけでなく、親子で松江の歴史や文化に親しむ機会を設けていく。

（令和3年度はじめた「めざせ！お城マスター！」のような企画など）

調査・研究

○調査研究した成果を研究紀要（第15号）や講演会などで発表していく。

広報

○松江歴史館ニュースレター「MATSUREKI」を刊行する。（11号〔夏号〕、12号〔冬号〕）

○様々な媒体を通して、効果的にPRしていく。

【指定管理者】

利用促進

- ・営業訪問・広報による利用促進
(県内外の旅行会社、観光関連施設などへ訪問予定)
- ・H P、S N Sの積極活用による施設情報の提供
- ・インバウンド客に向けた館内表示の見直し。
- ・喫茶きはる販売促進活動(年3回)
- ・年パス購入促進キャンペーン(年1回)
- ・アンケート収集強化からの利用促進
- ・行政との連携による利用促進
- ・宿泊施設、観光施設、公共施設等との連携
- ・ボランティアガイドの活用
- ・企画展示関連イベントの開催
- ・周辺の施設や周辺の学生と連携したイベントの開催

○イベントの開催予定一覧

開催予定期	イベント名	
4月	・火縄銃演武	
5月	・GWイベント ・企画展関連イベント	・歴史館こども寄席
6月	・城下町クリーンアップ計画 ・武者の日イベント	・歴史館こども寄席
7月	・親子体験活動 ・火縄銃演武	・ちぎり絵うちわづくり
8月	・めざせ！お城マスター ・企画展関連イベント	
9月	・めざせ！お城マスター ・歴史館こども寄席	・大人活塾 in 松江歴史館
10月	・あっぱれくん・しじみ姫グリーティング ・みんなの民藝市	・お客様アンケート強化イベント
11月	・火縄銃演武 ・詩人こーた個展	・篆刻教室
12月	・しめ縄作り	・歴史館こども寄席
1月	・鉄砲隊初撃ち ・新春書初め	・新春プレゼント企画
2月	・花もち作り	
3月	・開館16周年イベント ・企画展関連イベント	・歴史館こども寄席

施設管理

○委託業者と連携し、設備機器・庭園管理など仕様に沿って適切に維持管理を行う。開館後14年を過ぎ修繕箇所も多くなっている為、松江市と協議しながら計画的に修繕を行い、利用者が安心・安全に利用できる施設管理を行っていく。

松江歴史館

運営協議会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

役 職	氏 名	役職名等	分 野
委 員	落 合 公 彦	島根県立美術館支配人	社会教育関係
〃	小 林 准 士	島根大学法文学部社会文化学科教授	学識経験者
〃	杉 岳 志	島根県立大学人間文化学部地域文化学科准教授	学識経験者
〃	田 川 伊 智 子	松江市立朝日公民館長	社会教育関係
〃	濱 岡 宏 行	松江市立出雲郷小学校長	学校教育関係
〃	錦 織 秀	島根県立古代出雲歴史博物館長	社会教育関係
〃	引 野 道 生	山陰中央新報社編集局情報部文化担当参与	学識経験者
〃	平 川 真 代	松江市子育てサポーターの会	家庭教育関係
〃	福 島 律 子	元松江市教育長	学校教育関係
〃	藤 井 美 保	公益財団法人 田部美術館学芸部主任	社会教育関係

任期:令和6年12月1日～令和8年11月30日

松江歴史館運営協議会に関する法律・例規条文（抜粋）

博物館法

（博物館協議会）

第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

松江歴史館の設置及び管理に関する条例

（運営協議会）

第26条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、歴史館に松江歴史館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、市長が任命する。

3 委員の定数は、10人以内とする。

4 委員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 前各項に定めるほか、協議会に関し必要な事項は、規則で定める。

松江歴史館の設置及び管理に関する条例施行規則

（運営協議会の運営）

第11条 松江歴史館運営協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

5 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じ会長が招集する。

6 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

7 会議の議長は、会長をもって充てる。

8 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

9 協議会の庶務は、松江歴史館において処理する。

10 前各項に規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

〒690-0887

松江市殿町279番地

松江市文化スポーツ部松江歴史館

電 話： (0852) 55-5511

FAX : (0852) 32-1611

E-mail : rekishi@city.matsue.lg.jp